

第5回円空大賞円空賞

遠藤利克（えんどうとしかつ）

プロフィール

1950年：岐阜県高山市に生まれる
1972年：名古屋造形芸術短期大学彫刻科卒業
1978年：「'78 所沢野外美術展」（所沢航空記念公園／所沢）出展
1983年：個展ギャラリー葉（東京）
1986年：「第6回インド・トリエンナーレ」（ニューデリー）出展
1987年：「ドクメンタ 8Kassel1987」（カッセル）出展
1988年：第43回ヴェネツィアビエンナーレ「アペルト'88」（ベニス）出展
1989年：第20回ミデルハイム・ビエンナーレ「日本野外彫刻展」（アントワープ）出展
1990年：「第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ1990」（ベニス）出展
1991年：個展「遠藤利克-円環-加速する空洞」（東高現代美術館／東京）
「構造と記憶-戸谷成雄・遠藤利克・剣持和夫」（東京都美術館／東京）出展
1992年：著書『EPI TAPH-墓碑銘』発行
1994年：「第22回サンパウロ・ビエンナーレ」（サンパウロ）出展
1996年：「さよなら同潤会代官山アパート展-再生と記憶-」（代官山／東京）出展
1997年：「SculpturesLeJaponMont-de-Marsan」（モンドマルサン／フランス）出展
1998年：「SkulpturlandskapNordland (ARTSCAPENORDLAND)」（ノルウェー）出展
1999年：「森に生きるかたち」（彫刻の森美術館／箱根）出展
2001年：「横浜トリエンナーレ2001 メガ・ウェーブ」（パシフィコ横浜）出展
2003年：「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2003」（新潟）出展
「WATER／アムステルダム水道公園ウォーキングアート」（アムステルダム）出展
2005年：「沈黙の声」（東京国立近代美術館／東京）出展
2006年：個展「Trieb-振動 (ReinRoom)」（発電所美術館、富山）
2007年：芸術選奨文部科学大臣賞受賞



選評

遠藤利克氏は岐阜県高山市の生まれであるが、彼は長年、孤高にして決して明解とはいえない彼の芸術理念の作品化を追い求め続けてきた。その作品は炭化した木や水や土を使った抽象的な作品であるが、観る者をして原初的世界に誘い込むような違和感を与える。そしてその世界はまったく沈黙の世界のようであるが、そこからは作者がぼそぼそとした声で代弁する宇宙の声が聞こえてきそうである。



Trieb(1995年制作)



「足下の水」(2003年制作)



Trieb-振動 (RainRoom) (2006年制作)



Trieb-神殿 II(2007年制作)



Trieb-神殿 I(2006年制作)